



夏の公開講座①

第24回養護教諭セミナー（聴覚に関する知識と実践）

（定員 30 名）

養護教諭セミナーは、本校通学区域の学校園の養護教諭の先生方を対象に、聴力測定や聴覚管理、その他聴覚に関わる知識や技能、情報交換の場を提供することを目的に、毎年夏季休業中に開催しています。

<1>期 日 令和6年 **8月4日（月）**

<2>対 象 大阪市・守口市内の学校園の養護教諭
大阪府下の支援学校の養護教諭

<3>プログラム

13:00 ～ 受付

13:10 ～ 13:15 開会式

13:15 ～ 15:25 講演「きこえの多様性～片耳難聴の理解と支援を中心に～」

京都光華女子大学 准教授 高井小織先生

一側性難聴は片耳のきこえは正常であるため、支援の必要性に気付かれにくい状況に陥りやすいと言われています。今回は、ご自身も一側性難聴である高井先生にお話いただき、ご自身のご経験についてやワークショップから、片耳難聴についてやその支援について、理解を深めていくことのできる内容を用意しております。

15:40 ～ 16:30 情報交換会

16:30 ～ 終了後、聴能室見学・個別相談（希望者のみ）

夏の公開講座②

第14回聴覚障がいのある幼児・児童・生徒の担当教員研修会

（定員 30 名）

聴覚障がいのある幼児・児童・生徒を担当されている教職員の方々を対象にした研修会を開催します。きこえにくい子どもの「ことば」に焦点を当てた全体講座のほか、4つの選択講座を予定しています。ぜひご参加ください。

<1>期 日 令和6年 **8月6日（水）**

<2>対 象 大阪市および守口市内の学校園、大阪府下の高等学校・支援学校に在籍する
聴覚障がいのある幼児・児童・生徒を担当する教職員

<3>プログラム

13:00 ～ 受付

13:10 ～ 13:15 開会式

13:15 ～ 14:15 全体講座「聴覚障がいのある子どもが自立するために育みたい力」

本校 中学部 教諭 明石慈英

聴覚支援学校の中学部で指導してきた自立活動の内容として、自分自身のきこえについて説明する力や受けたい配慮をどのようにまわりに伝えるかなど、卒業後に必要となる力を身につけるために、指導をする中で意識したポイントなどを実践を踏まえてお話しします。



14:30 ～ 15:30 選択講座

A 重複生における 進路指導	B 発音指導	C きこえと 補聴機器	D 手話
重複生における学校での学習内容について、またどのようなところに就職しているのかなど、実例を紹介します。	発音のしくみや発音要領（母音・子音）について紹介しながら、実践研修をします。	「きこえのしくみ」と、補聴器や人工内耳などの補聴機器についての基礎的な内容を紹介します。	学校園の生活によく出てくる単語を中心に手話表現を紹介し、一緒に練習します。

15:45 ～ 16:45 実践交流会

共通事項（夏の公開講座①②）

- ・詳細については、各校園に案内を送付もしくはメール配信等しております。
- ・添付の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、郵送か逕送、または FAX にてお申し込みください。
- ・締め切り **7月11日（金）必着**（定員になり次第、締め切ります）
- ・参加を受け付けた方には、FAX もしくはメールで連絡します。定員を超えて受け付けられない場合には、個別に連絡します。
- ・名札とスリッパをご持参ください。

夏の公開講座については、本校ホームページにも案内を掲載しています。

「本校ホームページ」→「地域支援」→「研修会の開催」

<https://www2.osaka-c.ed.jp/osakachuo-c-s/post-88.html>



“大阪府高校進学フェア2026” 本校高等部出展決定しました！

体験入学や学校見学には参加できないけれど、「本校高等部の学科や学校生活について知りたい」「話を聞いてみたい」という生徒や保護者の皆さま、ぜひ本校ブースにお立ち寄りください。本校高等部の教員が、皆さまのご質問に丁寧にお答えし、知りたい情報をご提供いたします。多くの皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

日時： 令和7年7月27日（日）10:00～16:00（最終入場 15:30）

会場： インテックス大阪 6号館 C・Dゾーン

本校高等部のブースは「Dゾーン」です

申し込み： 進学フェア特設ページより事前申し込みをお願いします。

（当日受付枠もありますが、満員の場合はお待ちいただく場合があります）



チャレンジ！発音指導 ②④

ハ行音

5月号では、ハ行音の特徴について掲載しました。今月号は、指導方法についてです。

・「は・ひ・へ・ほ」の練習方法

は行音の発音指導は、まず息の出し方を身につけることから始めます。初めに、声を出さずに息だけで「はー」と吹く練習を行います。このとき、ろうそくの火をやさしく揺らすようなイメージで、やわらかく息を出すことがポイントです。「やわらかく」というところがわかりにくい場合は、息が出ていることを視覚や触覚で確認できるように工夫することが重要です。たとえば、手のひらに息を当てたり、ティッシュや小さな紙を揺らしたりする方法が有効です。息の通り道を身体で感じることで、発音への意識づけにつながります。実際に、教員の「はー」という息を子どもの手にかけたりすることも有効な方法です。

息のコントロールに慣れてきたら、声を加えて「は・ひ・へ・ほ」と順に発音します。必要に応じて、鏡を使って口の形を確認したり、教員がモデルとなってゆっくりとした口形で発音を提示したりします。

・「ふ」の練習方法

「ふ」の音は、上下の唇を閉じたり丸めたりする音ではなく、上の前歯を下唇に軽く当て、すき間から息を出してつくる摩擦音です。きこえにくい子どもにとっては、音の違いや口の使い方がわかりにくいので、まずは声を出さずに「ふー」と息だけで練習します。ティッシュや紙片を前に置き、息が当たって動く様子を見せることで、息の流れを視覚的に示します。

この感覚に慣れてきたら、徐々に声を加え、「ふ」の音として定着させていきます。「ふく」「ふね」「ふうせん」など、身近な語を使った単語練習に進めることで、実用的な音の習得につながります。「ふ」だけの発音が難しい場合は、「は」→「ひ」→「ふ」と段階的に音を変化させる練習方法も有効です。口の動きや音の出し方を、やさしい音から少しずつ難しい音へと移っていけるよう、子どもに合わせて丁寧に教えることが大切です。

「みみネット」編集部：

大阪府立中央聴覚支援学校 聴覚支援センター 担当：金森、只腰、萩原
〒540-0005 大阪市中央区上町1-19-31
TEL: 06-7712-1405（支援関係）／ 06-6761-1419（学校代表）
携帯: 080-7008-9463（支援部専用）FAX: 06-6762-1800